



第18回 2025夏 八千代子どもサミット

みとめあい ～自分も相手も尊重～

8月1日にセントラルスポーツ生涯学習プラザで「第18回 2025夏 八千代子どもサミット」が開催されました。今年度のテーマは「みとめあい - 自分も相手も尊重 -」です。このテーマは、市内全中学校・義務教育学校後期課程の代表生徒が集まり、話し合いを重ねて決定しました。今回は、市内小・中・義務教育学校の代表に市内の高校生・大学生が加わり、意見を交わしました。

八千代子どもサミットとは

未来を担う児童生徒が地域の問題や将来などについて考え、地域の一員としての自覚と認識を深めるとともに、市内全ての小・中・義務教育学校が連携して、地域に主体的に参画することを目的として開催しています。



サミットの内容と当日の様子

サミットは3部構成で行われました。

1. 各学校の取組紹介

市内の各学校で校内または地域の人と一緒にやっているSDGsに関連した活動の取組事例を発表しました。「みとめあいの木」「八千代ハピネススマイルプロジェクト」など、どの学校も児童会や生徒会などを中心に取り組んでいる事例について校内や地域の実態に応じて工夫を凝らして発表しました。発表の間には、「作戦タイム」をとり、発表の仕方について、高校生・大学生からアドバイスをもらいました。声の抑揚や資料の示し方などを学ぶ良い機会となりました。子どもたちは、他校の取り組みの良さに触れ、自校の活動を広げ深めるヒントを得たようです。



2. 異校種ディスカッション

市内の高校生・大学生を招待し、それぞれの年代が考える「みとめあい」について話し合いました。話し合う中で、「みとめあうとは、どういうことなのか」「みんながみとめあえる社会の実現のために、大切なことは何か」を、一人ひとりが考えました。



<参加した高校生・大学生の感想>

- ・この八千代子どもサミットは、小・中学生にとって、自身の考えを広げられる良い機会だと感じました。大人にとっても、新しい気づきがある事業だと思いました。
- ・小・中学生の頑張り、地域に参画することへの当事者意識が感じられ、感動しました。他の市・県にも広がってほしいプロジェクトだと思いました。また参加したいです。

豊かな関わり合いを通して、他者の思いに触れながら、互いを認め合い、生き方に共感する時間となりました。

3. 全体ディスカッション

小・中・義務教育学校の代表児童生徒で「みとめあいが進む八千代市に向けて」をテーマに、話し合いました。事前に行った「みとめあい」についてのインタビュー動画（スクールガード、外国籍の人、LGBTQの先生、自衛隊の人、障がいのある人、高齢者からのメッセージ）を視聴した後に、認め合うために大切なことについて話し合いました。自分の個性、他者の個性をよく知ること、あいさつから人とのコミュニケーションを大切にすることなどの意見が上がり、子どもたちが、八千代市という視点で課題を見つける貴重な時間になりました。ディスカッションの後には、さらに「自分たちの学校、地域でできることはないか」



について話し合い、次の活動へとつながるきっかけとなりました。

<参加した児童生徒の感想>

- ・子どもサミットに参加して外国籍の人の話を聞いたことによって、先入観なくコミュニケーションをとれるようになりました。
- ・サミットの活動に取り組むことによって、優しい世界に近づいていくように思います。
- ・子どもサミットに小学生の時も参加させてもらいましたが、サミットを通して自分の夢ができました。多くの人と関わりをもつ仕事に就きたいと思うようになりました。

正解のない問題の答えを対話により深めることは、次世代を担う子どもたちにとって必要な力の一つです。これからも、八千代子どもサミットを通じて、ふるさとを愛し、地域と共に生きる、優しい心をもった子どもたちを育てていきます。

【ご協力ありがとうございました】

市内の高校生・大学生にも参加していただきました。（50音順）
秀明八千代高等学校、秀明大学、千葉英和高等学校、八千代高等学校、八千代松陰高等学校、八千代西高等学校、八千代東高等学校

お問い合わせは
指導課 ☎481-0301へ

広告